



旅 教えて! GIRL



窪 咲子(くぼ さきこ)

編集、ライター。出版社を経て、世界一周の旅に出発。トラベルライターとして仕事をしながら世界中を旅する。今までに訪れた国は75カ国以上。地球の歩き方WEBサイトにて世界各国で出会っ

たイケメンのストリートスナップを掲載する「世界イケメンハンター」を執筆。帰国後は「マツコの知らない世界」や「今夜くらべてみました」などメディアにも出演。一児の母となり、子連れ旅を満喫中。著書に「GIRL'S TRAVEL」(ダイヤモンド社)、『恋する世界一周』(イカロス出版)。



oshiete

旅先で食べたもので一番おいしかったものはなんですか？
一番おいしくなかったものも知りたい(笑)



旅をする中で、ヘビの丸焼きやカエルジュースなど、日本では食べる習慣がないような変わった食べ物も口にしてきましたが、口に合わなかったのは、断トツでエチオピアの主食「インジェラ」



です。旅人の間でインジェラは、「見た目は雑巾、味はゲ〇」とまで例えられる恐怖の食べ物。イネ科のテフという植物の粉を水で溶いて、数日かけて発酵させたものをクレープのようにうすくのばして焼き、「ワット」と呼ばれるおかずにつけて食べます。何日も発酵させているので、非常に酸味が強く、かなりクセのある味。レストランで出てくるインジェラはまだ良いのですが、村を訪れたときに歓迎の意味を込めて焼いてくれるインジェラが、クセモノ(笑)。「いったい何日発酵させたんだ!？」と思うくらい酸味が強く、ときには砂利が入っていることもあるので、非常に口当たりが悪い。村を訪れるたびにインジェラを焼いて、もてなしてくれる気持ちはとてもうれ

しいのですが、そのたびに嘔まずに飲み込んだり、笑顔をキープするのに本当に苦労しました…。2週間の滞在を終え、帰りの飛行機に乗り「ようやくインジェラから解放される!」と喜んでたのもつかの間、機内食の



ふたを開けたらインジェラが入っており、愕然としたことも今では良い思い出です(笑)。



モモ

逆においしかったものとして印象的なのは、ネパールで食べた「モモ」という餃子のような料理やポルトガルで食べたタラのグラタン「バカリヤウ・コン・ナタス」。そして、一番意外性があった



バカリヤウ・コン・ナタス

おいしかったのは、地球の反対側、南米・ペルーの料理です。日本ではあまりなじみのないペルー料理ですが、実は繊細な味付けのものが多く、旅人の間では“美食の国”としても有名。とくに好きだったのは、牛肉とフライドポテトと玉ねぎ、トマトを炒めてしょう



ロモサルタド

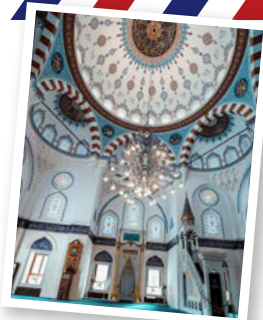
ゆで味付けた「ロモサルタド」。フライドポテトを炒め物の中に入れるという発想にとっても驚きましたが、カリッとした食感がアクセントになり、クセになるおいしさ。黄色い唐辛子とク

リームでチキンを煮込んだ料理「アヒデガジーナ」もクリームカレーのようでとてもおいしく、忘れられない味です。帰国してからもたびたびペルー料理が恋しくなり、東京にあるペルー料理店を探しては訪れるほど、今ではすっかりペルー料理の虜に。新型コロナウイルスの影響で、海外旅行にも行くことも難しい今は、食を通して旅行気分を味わい、たのしんでいます。

最近の

旅 ニュース

息を呑むほど美しいこちらのモスク、じつは東京・代々木上原にあるものなんです。一般の人でも予約なしで気軽に見学することができる「東京ジャーミイ・トルコ文化センター」は、一歩足を踏み入ると、ここが日本だということを忘れてしまうほどの異国感。モスク内に描かれた装飾やイスラム色豊かなタイルとステンドグラスの美しさは圧巻でした。肌の露出はNGのため、スカーフやビジャブの貸し出しも。売店では、トルコの雑貨やイスラム教の「ハラルフード」が扱われており、文化を理解するのにもぴったり。週末は日本語ガイド付きの見学ツアーやトルコ料理教室なども行われ、日本に居ながらにしてトルコにいるような気分が味わえる素敵な空間でした。





つづきをダウンロード(無料)



Hostelling Magazine vol.22
まとめてダウンロード



Sustainable Tourism P18



インタビュー P02
武井 壮
「行って見るだけ」はしたくない。
どこに行っても自分の価値を発揮できる
自分でありたい。



ユースホステルはじめての一歩 P20



Youth Hostel Pick up P08
「馬のまち」として歴史を紡ぐ小淵沢で、
豊かな自然を間近につろぎの時間を。
八ヶ岳ポニーユースホステル



教えて! 旅GIRL P21



Hostelling Magazine × 地球の歩き方... P12
最も美しいのはココ!世界こんなところにこんな町!?
■ 絶壁に囲まれた「陸の孤島」
■ 外洋から100km!えぐれたフィヨルド沿いの町
■ 紺碧のアトリア海に囲まれた城壁とオレンジの旧市街
■ 険しい岩窟城の周りに土の家々が並ぶ
■ アンデスの山々に囲まれた標高3500mオーバーの盆地
■ 三日月のオアシスに寄り添う仙人の不思議な住居
■ ユングフラウ3山を見上げる山間の小さな村



松島むうの晴れときどき旅びより P22

Hostelling Magazine読者の皆様 発行日程変更のお詫び

平素よりHostelling Magazineをご愛読いただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、本誌Hostelling Magazine vol.22の発行日を変更して発行いたしました。楽しみにお待ちいただいていた皆様におかれましては大変申し訳ございませんが、なにとぞ事情をお汲み取りいただき、ご了承いただけますようお願い申し上げます。また、本年度発行の次号以降の発行日程につきまして、右記の通り予定しています。

2020年度季刊誌「Hostelling Magazine」発行スケジュール

	変更前	変更後
秋号	9月下旬	10月下旬(予定)
冬号	12月下旬	変更なし(予定)
春号	2月下旬	変更なし(予定)